

【静岡県の概要】

図 水稲の作柄表示地帯別
10a 当たり収量及び作況指数

1 水稲

- (1) 静岡県における令和2年産水稲の作付面積（子実用）は1万5,500haで、前年産に比べ200ha減少した。

また、主食用作付面積は1万5,400haとなった。

- (2) 全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は、穂数が少ない、1穂当たりもみ数が多いとなったことから「やや多い」となり、登熟は、全もみ数がやや多いことによる相反作用やトビイロウンカの発生等により「不良」となった。

- (3) この結果、静岡県の10a 当たり収量は478kgで、前年産に比べ39kg減少した。また、作柄表示地帯別では、東部で467kg（前年産に比べ35kg減少）、西部で488kg（同43kg減少）となった。

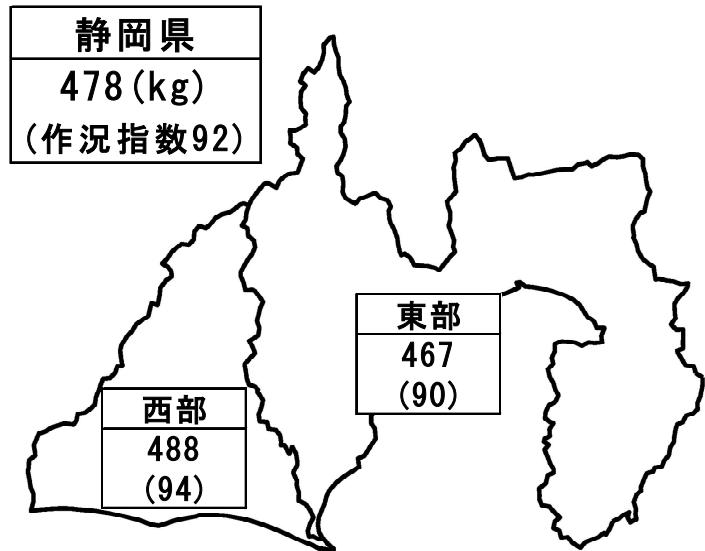
なお、農家等が使用しているふるい目幅（1.80mm）で選別された静岡県の作況指数は92となり、作柄表示地帯別では、西部で94、東部で90となった。

- (4) 以上のことから、収穫量（子実用）は7万4,100tで、前年産に比べ7,100t減少した。

また、主食用作付面積に10a 当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は7万3,600tで、前年産に比べ7,100t減少した。

2 陸稲

本年産については、主産県を調査の対象としているため本県の調査は実施していません。

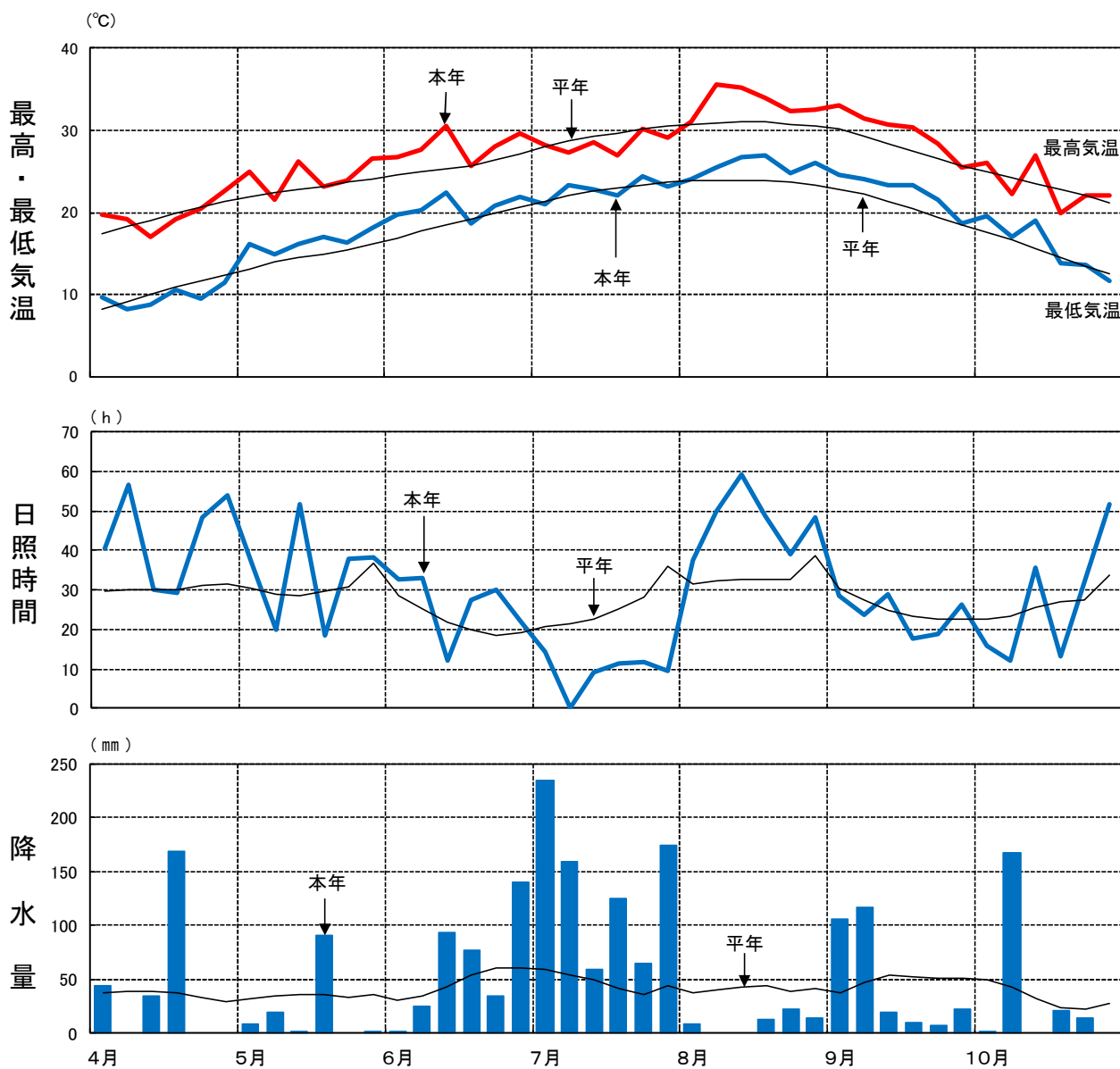


○ この資料は、「令和2年産水陸稲の収穫量（関東農政局管内）」12月9日公表の補足資料として作成したものです。

詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/ 】

令和2年 半旬別気象（静岡）



資料：気象庁



注：田植期、出穂期及び刈取期の期日は、いずれも最盛期を示す。
 なお、()内は、平年との遅速（日数）を示す。

お問合せ先

◎本統計調査結果について
 関東農政局 静岡県拠点 統計チーム
 電話：054-246-6123
 F A X：054-246-6122